

## 令和5年度 日本ホッケー協会U15カテゴリ一部会 事業報告

●会議：会議 ■大会：大会(抽選会) ◆遠征：遠征(選考会) ★部会：その他、中学校部会としての活動

●会議	5月21日(土)	第1回常任委員会(京都府/YIC 京都工科自動車大学校)にて開催
★部会	年間を通じて	<p><b>○JHAとの連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手育成体制への協力(組織作り・地区代表選手の選考)</li> <li>・J-STAR プロジェクトへの参画など新たなパスウェイ構築への取り組み</li> <li>・公認審判員、競技役員の養成</li> <li>・自主財源確保の努力、具現化する方策として「個人登録金」の徴収</li> </ul>
■大会	7月下旬 ～8月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北ブロック [7/28～30 岩手県岩手町ホッケー場]</li> <li>・関東ブロック [7/29～30 栃木県今市青少年スポーツセンター・日光市ホッケー場]</li> <li>・北信越ブロック [7/28～30 富山県小矢部ホッケーフィールド by 三井アウトレットパーク]</li> <li>・東海ブロック [7/15 岐阜県川崎重工ホッケースタジアム]</li> <li>・近畿ブロック [8/5～6 和歌山県マツゲンスポーツグラウンド]</li> <li>・中国ブロック [7/29～30 島根県三成公園ホッケー場]</li> <li>・四国ブロック [7/23 香川県綾川町ふれあい運動公園]</li> <li>・九州ブロック [7/22～23 熊本県小国町林間広場]</li> </ul> <p>○なお、各ブロック大会において、地区代表選手(東地区：男21人、女21人、中地区：男36人、女34人、西地区：男23人、女19人)計154名を選考し、リストをJHAに上程</p> <p>⇔NTSとの連携(選手データを上程・認定書授与)</p>
■大会	8月7日(月)	全国大会抽選会(岡山県岡山市立瀬戸中学校会議室)
■大会	8月18日(金) ～21日(月)	JOCジュニアオリンピックカップ
●会議	全国委員会 監督会議(8/18)	<p>第53回全日本中学生ホッケー選手権大会 (岡山市瀬戸町江尻レストパーク多目的広場(人工芝S4面))</p> <p><b>*大会成績</b></p> <p>=男子の部=</p> <p>1位：HiroshimaBVHC(広島県)、2位：岩手U-15HC(岩手県) 3位：伊吹山中(滋賀県)、川西・米二中(山形県)</p> <p>*最優秀選手：吉岡 真大(広島県・HiroshimaBVHC)</p> <p>=女子の部=</p> <p>1位：朝日中(福井県)、2位：蟹谷(富山県) 3位：かかみがはら中央クラブ(岐阜県)、今市中(栃木県)</p> <p>*最優秀選手：藤井 音々(福井県・朝日中)</p>

●会議	8月22日(火)	<p>全中大会 優秀選手選考会議</p> <p>*事前に明確な選考基準を提示して、透明性のある選考をめざす。 今年度も監督推薦を重視した方法により選考を行った。</p>
◆強化	9月16日(土) ～18日(月)	<p>ジュニアユース(U-15)選手選考会 宮城県(男・女)</p> <p>*男女各25名の候補者を中学校部会として選考した後に、JHA選手・スタッフ選考会議を経てU-15ジュニアユースホッケー代表選手としてオーストラリア遠征に参加するメンバーを正式決定。</p> <p>*今年度は男女共同開催となった。人工芝・付帯施設共に素晴らしく、宿泊施設も充実しており、選考会を行うにあたって施設・経費共に大変良い環境であった。スタッフのみできない部分を宮城県の中体連の先生方やコーチの皆様方に選考会を手伝っていただいたことに改めて感謝したい。</p>
■大会	10月8日(日) 11月11日(土) ～12日(日) 監督会議(11/10)	<p>1 1人制大会抽選会(福井県・越前町)</p> <p>第24回全日本中学生都道府県対抗 1 1人制ホッケー選手権大会(福井県・越前町)</p> <p>=男子の部= 1位:栃木県、2位:富山県、3位:岩手県、滋賀県</p> <p>=女子の部= 1位:福井県、2位:富山県、3位:岐阜県、滋賀県</p> <p>コロナの制限を特に設けず、大会実施となり、大変盛り上がった。また、昨年に引き続き今年度も中学校部会の中に1 1人制大会実行委員会を設置し、若手の先生方を中心に取り組んだ。</p>
◆強化	12月3日(土) ～4日(日)	<p>ジュニアユース(U-15)ナショナルチームオーストラリア遠征</p> <p>・2023 GRYPHONE CUP</p> <p>*JHA「事業計画」の競技力向上(強化)事業に掲げられた目標を具現化すべく、日本代表チームを編成しオーストラリア海外遠征を4年ぶりに実施した。</p> <p>*大会成績 =男子=7位(参加17チーム) =女子=1位(参加14チーム)</p>
◆強化	1月	<p>ユース(U-18)地区選考会への参加・・・強化の連携事業</p> <p>&lt;男子&gt;</p> <p>東地区:晝八一綺(築館)、土橋拓也(白根御勅使)、沼田 岳(津沢) 木下比叡(朝日)、安井健悟(朝日)、白樺玖久(石動)</p> <p>中地区:高橋青音(伊吹山)、常喜琥太郎(伊吹山)</p> <p>西地区:川西大翔(仁多) 宮本康樹(横田)、穴見拓翔(小国)</p>

<p>●会議</p>	<p>2月24日(土) 2月25日(日)</p>	<p>石田勇太 (Hiroshima)、吉岡真大 (Hiroshima) 石丸蒼大 (Hiroshima) &lt;女子&gt; 東地区: 野路結南 (朝日)、吉田来夢 (朝日)、森川 花 (織田) 藤井音々 (朝日) 中地区: 橋本奈々 (かかみはら中央)、小池咲代 (かかみはら中央) 西地区: 該当者なし  第2回常任委員会 (YIC 京都工科自動車大学校)</p>
------------	------------------------------	--

文責: 徳光 寿 (U15 カテゴリー一部会事務局)